



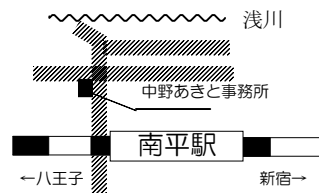
検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正



「中野あきと代表質問」

Ⅱ 市政の刷新など積極提案Ⅱ

いま、市政がやるべきこと

市議選後の初議会となった3月市議会で、中野あきと市議は、党市議団を代表して市長の新年度へ向けた所信表明に対する代表質問を行いました。

ここでは、その概要をお知らせします。

詳細は日野市議会HPの3月9日の所信表明部分の録画でご覧になれます。

市政をめぐる 不正・腐敗問題

市長は、「引き続き全容解明に取り組みとともに再発防止策を講じる」と述べているが、全容解明への本気の姿勢は感じられない。

一連の不正問題で求められているのは、真相と全容を解明し責任の所在を明らかにすることだ。また、公金詐取による被害の規模とその全容を解明して、失われた公金を返還させるなど被害の回復・是正措置をとることではないのか。

ごみ搬入路をめぐる 違法問題

市長は所信表明で「2度の司法判断を重く受け止め、対応していく必要性も感じている」とする一方で「違法ではない」という市の主張が認められず非常に残念」「今後とも市の立場を丁寧に説明していく」と述べている。

これでは反省の意思や姿勢があるのか疑われる。地裁、高裁と、2度にわたって違法との判決が下されている重

事態だ。市長は、何を間違え誤ったのか、深く反省し、市民に謝罪すべきではないのか。

そうでないと法にかなない、北川原公園をめぐる歴史と住民に誠実に向き合った打開策は生まれてこない。

地裁、高裁の判決内容を深く吟味し、真剣に反省し受け止めるべきだ。

気候危機への対策

市長は、所信表明で、脱炭素社会を目指すとしているが、焦眉の課題である2030年目標への取り組みは極めて不十分と言わざるを得ない。

日野市として2030年までのCO2削減へ、再生エネ施設(太陽光発電)をどこまで増やすのか、省エネのために住宅の断熱化をどこまで進めるのか、緑を増やし二酸化炭素の吸収をどう増やしていくのか、公共交通をどこまで充実させ化石燃料を消費する自動車をどれだけ減らすのかなど、意欲的な構想を示すべきだ。

(2面に続く)



改修工事中の浅川堤防

伐採をまぬがれた桜が満開

平山5丁目の浅川右岸(下流に向かって右側)の桜が、この春も見事満開になりました。ただ、堤防の改修工事が完了しないために遊歩道に入っている花見はできませんでした。

この桜は、堤防の高(かさ)上げ工事のため伐採される予定でしたが、地元の方々の強い要請で残すことができました。

3月末までの予定だった堤防工事は、6月30日まで継続されることになりました。(Y)

◀ 3月31日 撮影



短信

爆弾は空気を切り裂くような鋭い音で落ちてくる。空中で数十発の子爆弾に分散する焼夷弾は、まるで大雨のような音がした▼戦争の末期、連夜の空襲で受けた恐怖感は容易に消えるものではない。戦争が終わりしばらく経っても、胸を締め付けられるような重圧感に襲われ夜中にハッと目を覚ますこともあった▼今、ウクライナで行われている無差別攻撃。私たちを襲った空襲の恐怖が蘇る。あれは戦意喪失をねらい、いかに多くの犠牲者を生み出すかを目的にした卑劣極まりない攻撃なのだ▼この機に乗じた「敵基地攻撃能力」「核の共有」「改憲」の声にゾッとすると。「戦争を知らない政治家だけになったら怖い」と、あの田中角栄氏も言っていた。どんな理由があっても戦争だけはダメ。戦後の焼け野原の街で、日本人の誰もが抱いた思いを忘れまい▼今、大切なのは「侵略者は手を引け」の声をあげることに。世界中から湧き上がる抗議に、孤立を深めているのは侵略者プーチンではないか▼週に一度、静かな高幡不動駅北口で地道に署名活動が続ける人たちがいる。先日は「憲法改悪を許さない全国署名」が集まるようになったと嬉しそうに語っていた。南平駅前でも、わずかの時間に驚くほどのウクライナ人道緊急支援募金が寄せられている▼わが街でも見られる『NOWAR』のうねり。戦争が終わって77年、ジグザグはあっても平和の流れは着実に広がっている。

（一面続き） ジェンダー平等の 取り組み

市長は、所信表明で「男女平等施策や差別解消の取り組みをさらに推し進める」としているが、パートナーシップ制度、女性副市長の実現などに止まっている。

2030年までに男女の完全な

平等を目指すという国連や国際社会の動きから大きく立ち遅れている日本及び日野市の現状を打開するために、女性管理職の目標をどう定め、取り組みのなか。

ケア労働の賃金格差是正・待遇改善などで日野市として取り組むべきこと、できることはあるはずだ。目標を持って、そうした具体的な取り組みを進めるべきだ。

市政疑惑解明・市政刷新を求める請願

自民、公明、チームみらい、維新など

与党の反対で不採択に

3月31日の市議会本会議で、『グリーンなまち日野をつくる会』が提出した「日野市政をめぐる疑惑を解明し、不正を一掃して市政を刷新することを求める請願」の審査と採決が行われました。

「請願」は、共産党市議団の4人と無所属議員4人が採択に賛成しましたが、自民、公明、チームみらい、維新と、2人の無所属議員が採択に反対し不採択となりました。

討論では7人が発言し、「疑惑解明に市議会も一歩を踏み出すことが必要」「議会もがんばれという請願を受けて私も議員として頑張る」「今こそ議会の役割を発揮すべきだ」「市の隠い体質を変えることが必要」など、賛成の発言が相次ぎました。

一方、「これ以上の蒸し返しは必要ない」「あれこれ詮索し推測して長引かせるべきではない」な

どの反対意見や、「市政刷新というが、市長選と市議選で人事の刷新はされている」という、請願の主旨をねじ曲げる発言も行われました。

市政ミニ・ニュース

新年度で新しく予算化された施策～その2～

■小学生向け平和講和会の実施

広島、長崎、東京大空襲を経験された方から受け継いだ伝承者による戦争体験講和会を市内全小学校(17校)で実施。

■特別支援学級開設

小学校における自閉症・情緒障害学級の令和5年度開設へ向け、必要な準備を進める。

■飼い主のいない猫ゼロへ

今後3年間で保護猫ゼロを目指し、ボランティア団体へ保護猫の入院一時預かり費用・治療費助成制度、保護猫譲渡会の広報・HPなどでのPRなどを進める。

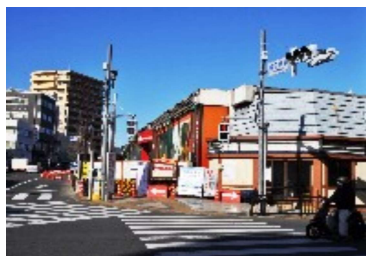
《ウクライナ緊急人道支援募金》

～中野あきと事務所でも受け付けています～

募金は全額を国連難民高等弁務官事務所、国連児童基金（ユニセフ）に届け、ウクライナの人々への支援に充てます。

<日野のちょっと昔（その2）>

多摩平名店街の取り壊し 2012年1月 （現在のイオン・多摩平の森）



1958年（昭和33年）から入居が始まった住宅公団（当時）の多摩平団地。その団地の入口、豊田駅前交差点から交番前までの歩道沿いのアーケードのある多摩平名店街には京王

ストアの他、10軒ほどの店があり郵便局もありました。

住宅公団はUR都市機構になり、1997年（平成9年）から老朽化の進んだ団地の建て替えなどが始まりました。

そして今から10年前の2012年には多摩平名店街の取り壊しも始まり、名店街のあった跡地の全区画に「イオン・多摩平の森」が2014年にオープンし現在に至っています。

（写真は2012年1月14日撮影の多摩平名店街の取り壊しの風景）

中野あきと事務所が南平駅前で

ウクライナ支援緊急人道支援募金に取り組む

中野あきと事務所では、3月25日、南平駅前で「ウクライナに平和を」「ロシアは侵略をやめよ」など、思い思いのプラカードを掲げてウクライナ支援活動をおこない、15人が参加しました。



「私も思いは一緒です」と手製の黄色、青色のストラップをくださった方や高校生も募金してくれるなど、1時間ほどの訴えでしたが18500円余の募金が寄せられ、戦争反対の思いも伝わってきました。

これからもウクライナ支援、戦争反対の行動を続けていきます。（M）

▲3月25日 南平駅で

一ミニバス北野街道循環に 新しく「南平体育館」停留所



南平体育館の完成と利用開始にともない、4月1日からミニバス南平路線北野街道循環に、ベンチ・屋根付きの「南平体育館」停留所が新設されました。

これにともない「南平四丁目」停留所は廃止されました。「南平体育館」停留所は「南平四丁目」から東へ200mほどで、南平体育館の真ん前です。時刻表は変わりません。

〔2022年5月の無料法律相談日〕

■12日（木）午後1～3時 日野市役所6階共産党控室
（お申込み） わたなべ三枝・清水とし子事務所

☎042-582-1042

◎法律相談以外のお困りごともお気軽に
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所